

## 授業名称：グループディスカッション シラバス

### 概要：

本プログラムにおいて、受講者が獲得した情報・知識により、受講者は自らの所属する地方公共団体において実際に適用し取組みを展開していくことが期待される。このグループディスカッションでは、講義および演習を振り返り、今後、自らの所属する地方公共団体における防災分野の業務において、地理空間情報および GIS を具体的にどのように活用していくことが考えられるか、期待される効果や課題はどのようなものか、グループメンバーによる意見交換を通じて検討を行う。

### 学習目標：

- ①自らの所属する地方公共団体の防災業務における地理空間情報及び GIS の活用方法を考えられる。
- ②①について、説得力のある形でわかりやすく整理し、伝えられる。

### 受講対象：

地方公共団体等において、防災に関連する業務に従事し、GIS 活用に取り組んでいる、または取り組もうとしている職員。

- (1) 防災部門に所属し、的確に災害予防対策等を行う人材
- (2) 福祉部門に所属し、災害時の要援護者避難などの面で防災部門と協力・連携する人材
- (3) まちづくり部門に所属し、防災施設の整備・改良などの面で防災部門と協力・連携する人材
- (4) 情報部門に所属し、災害情報の集約・可視化・共有などで各部門と協力・連携する人材
- (5) その他防災に関わる業務全般に関して、地理空間情報の活用に取り組む人材

### 教育手法：

ディスカッション、プレゼンテーション

### 担当講師及び講師の必要要件：

地方公共団体の防災業務における地理空間情報および GIS の活用について、基本的な考え方、課題（法制度、組織・体制、技術等）、先進事例などの知見を有しており、グループディスカッション実施に際し、適確なファシリテーションや講評が行えること。

### 参考資料：

特になし

### キーワード：

獲得した情報・知識の活用